

やまこし

山古志支所だより

特別号

2016.10.28 発行



中越大震災から 12 年

中越大震災から 12 年を迎えた 10 月 23 日、山古志体育館において追悼式が行われました。

地震発生時刻の午後 5 時 56 分、参列者約 500 人が希望の鐘を合図に黙とう。全国から寄せられた多くの支援に対する感謝の気持ちを込めて山古志小・中学校の児童・生徒が「ありがとう」、「しあわせ運べるように」を合唱しました。その後、復興への願いを込めたバルーンリリースが行われ追悼式を締めくくりました。

■編集・発行

長岡市山古志支所地域振興課地域振興・防災係 〒947-0204 長岡市山古志竹沢乙 461
電話：0258-59-2328 FAX：0258-59-2331 Eメール：ymks-chiiki@city.nagaoka.lg.jp
支所だよりは長岡市ホームページでご覧いただけます。

山古志地域追悼式



▼復興への願いを込めたバルーンリリース



◀▲午後5時56分、希望の鐘を合図に黙とうがささげられました。



▲東洋大生のボランティア活動による「やまこし汁」のふるまい



▲地域住民・中学生・東洋大生らによるキャンドル準備

▼震災当時の人口と同じ2,167本の『復興の灯り』の完成



ありがとう広場（10月23日）

震災から復興に取り組む中でいただいた様々な支援に対する感謝の気持ちを伝えるためのイベント「ありがとう広場」が開催され、新米や採れたて新鮮野菜、つくたて餅の販売等が行われました。



木箆水没家屋保存工事完了報告会（10月23日）

木箆集落では、地震による土砂崩れで芋川がせき止められ、住宅などが水没しましたが、そのうち住宅2棟は、当時の原形をとどめていることから、震災遺構として保存することになりました。このたび、保存に必要な工事が終了し、水没家屋の前で報告会が行われました。

当日は、知事、市長をはじめとする行政関係者に加え、木箆集落住民及び支援者も大勢参加して、保存される水没家屋をまじかに見学しました。



幸子田で脱穀、石碑お披露目会（10月13日）

小林幸子さんが山古志を訪れ、虫亀にある幸子田の稲の脱穀及び石碑のお披露目会を行いました。9月30日に稲刈りをした稲を幸子さんと児童たちで脱穀作業をしました。石碑には台座に米俵をかたどり、「復興応援 小林幸子田 心からありがとう」と幸子さん直筆の文字が刻まれ、さらに山古志児童で考えた「山古志の思いが届く幸子米」のメッセージを全員で朱色で墨入れをし、完成させました。お披露目会のあとは豚汁とおにぎりが振る舞われました。



震災復興 12 年記念 長岡市錦鯉品評会 (10 月 22 日)

長岡市錦鯉養殖組合主催の第 63 回長岡市錦鯉品評会が山古志支所前駐車場で行われ、市内で生産された錦鯉がその美しさを競いました。全体総合優勝は香港人オーナー、シー ウェインチョウさんの紅白(生産者:丸堂養鯉場)でした。会場には県内外の愛好家のほか外国人バイヤーも訪れ、優雅に泳ぐ「市の魚」錦鯉の美しさに見入っていました。

品評会の主な結果は以下のとおりです。(総出品数 358 点)

賞名	品種等	受賞者(生産者)	地区
全体総合優勝	第 75 超部 紅白	施 維進(丸堂養鯉場)	香港
若鯉総合優勝	第 45 部 昭和三色	越路養鯉場	越路
海外出品者最優秀賞	第 75 超部 大正三色	Alan Coogan(新太郎養鯉場)	イギリス
桜大賞(成魚賞)	第 65 部 銀鱗紅白	Ray O'Toole(寺泊養鯉場)	イギリス
桜大賞(幼魚賞)	第 45 部 ドイツ落葉	山重養鯉場	竹沢
立鯉成魚賞	第 75 部 大正三色	丸堂養鯉場	長岡
立鯉幼魚賞	第 35 部 紅白	斉藤観賞魚	池谷
海外出品者特別賞	第 55 部 落葉しぐれ	Kevin Pham(大積五十嵐養鯉場)	アメリカ
	第 65 部 大正三色	Azukari koi(丸重養鯉場)	イギリス
	第 75 部 大正三色	Dennis Massen(宮寅養鯉場)	オランダ
	第 75 部 五色	Chien Lee(小田養鯉場)	アメリカ
第 15 部優勝	大正三色	坂牧 金二	種芋原
第 25 部優勝	大正三色	斉藤 隆	竹沢
第 35 部優勝	大正三色	田崎養鯉場	蓬平
第 45 部優勝	紅白	星野養鯉場	長岡
第 55 部優勝	五色	Lukas Tanusanjaya(弥源治養鯉場)	インドネシア
第 65 部優勝	大正三色	かんの養鯉場	虫亀
第 75 部優勝	大正三色	五十嵐養鯉場	虫亀
第 75 超部優勝	大正三色	Dato Lee(錦鯉新潟ダイレクト)	マレーシア



全体総合優勝



若鯉総合優勝

震災復興 12 年記念大会 牛の角突き (10 月 23 日)

山古志闘牛会主催の牛の角突きが「震災復興 12 年記念大会」として開催されました。取組み前に全員で黙とうをささげ、震災で亡くなられた多くの命へご冥福をお祈りしました。また当日は退任を間近に控えた泉田知事のメッセージも読み上げられました。



▲黙とうの様子



▲陽都大王と日馬富士の取組み